

有吉佐和子の「複合汚染」を読み、合成洗剤の危険性を改めて認識しました。AERA という月刊誌は 1994 年 9 月号で「人類は女性化する」という特集を組みました。農薬の中にエンドサルファンやアトラジンが含まれていて、洗剤やプラスチック用品にはノニルフェノールという化学物質が含まれていて、それらが女性ホルモンのエストロゲンに類似していて、この 50 年間に男性の精子の数が 50%減っていると書いていました。

私は、ミクロネシアのポナペ島に 30 年に亘って学校造りのボランティアに関わりました。ポナペ島は海が綺麗でサンゴ礁に小魚が沢山泳いでいて、竜宮城のようなところですが、しかし、ある年、日本の企業がポナペにゴルフ場を建設すると聞きまして、ゴルフ場は芝生を守るために農薬を沢山使うから必ず海洋生物にダメージをもたらす、この綺麗な海が無くなると話しました。それが功を奏しゴルフ場建設は中止になりました。日本の教会の青年たちとポナペ島の教会の人々のワークキャンプは島の人々の健康を守る良い働きが出来ました。

イザヤ書 45 : 1～13 は第二イザヤと呼ばれる BC530 年頃の預言者の言葉で、神様から驚くべき啓示を受けました。バビロニアが世界を支配しているが、神様はペルシャの王キュロスを用いてバビロニアを滅ぼしバビロニアに奴隷として連れて行かれたイスラエルの人々を解放し、エルサレムの都を再建すると言われるのです。イエス様は「神はこんな石ころからでも、アブラハムの子たちを造り出すことができになる」(マタイ 3 : 9) と言われました。「石」はエベンと言います。エはアブラハムのアにエという母音を付けたスペルです。ベンは「こども」という意味です。神様は、道端の石ころからでもアブラハムの子達を造り出すことが出来、名もないペルシャの王キュロスを用いてイスラエルの人々を解放されたのです。

今日はアジア・エキュメニカル礼拝です。再び戦争を起こさないために神様は世界中で教会を用いようとしておられます。現実の歴史的な事柄に目を閉じて教会が平和と正義と公平を求める集団として機能しないならば、神様は教会以外の団体や人々を用いて御国の御用を進めて行かれるのだと思います。神はこの石ころからでもアブラハムの子を起こすことが出来るからです。神様はこの世界を守るために必ず想定外の道を開いて介入されると思いますが、主に立ち返り、教会が連帯して地球の生態系を守り、命を守る働きをして行きましょう。